

令和3年度 滋賀医科大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に係る自己点検・評価書

<令和3年度 自己点検・評価の結果について>

No.	点検項目	点検結果	評価結果	評価※1
1	履修数を把握・分析し、向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認しているか。	履修者数が少ない科目があるため、積極的な周知（オリエンテーションでの説明等）を行う必要がある。	本事業で計画された履修者数（令和4年度:20%）の獲得に向け、対策を要する。	B
2	学生の学修を支援する体制は整っているか。	本プログラムに係る科目については、「オフィスアワー（相談体制）」を設け、授業内容や勉強方法等の学生からの質問・相談に対応できる体制を構築できている。	学生への支援体制が整えられているため、点検項目を満たしている。	A
3	シラバスへの記載（到達目標、成績評価等）がなされ、予め開示された方法及び基準に基づき、評価が行われているか。	各授業科目ごとのシラバスの明記が一部に留まっている。 また、一部の科目においては、シラバスに記載した評価方法（小テスト等）で適切に評価が実施されている。	到達目標等のシラバスへの明記が一部に留まっていることから、来年度に向けて対策を行う必要がある。	B
4	授業評価アンケート等の結果を参考に、プログラム内容（授業の計画、教育方法、評価方法等）の改善を図っているか。	各科目で学生の満足度調査を行っており、概ね良好であった。 また、満足度の低い科目は、医学・看護学教育センターにて対象教員へヒアリングを行い、改善を図っている。 また、当プログラムに関するWG〔仮称〕を設置し、今後のプログラムの発展性について、検討を進めている。	授業評価において、一定の評価を得られており、また、是正策も実施されているため、本項目への対応は十分に実施されている。	A
5	プログラム修了者の進路状況等を把握し、就職先等から意見を聴取しているか。	令和4年3月時点で本教育プログラムの修了者はいない。		
6	評価結果を学内及び社会に対して、広く公開しているか。	令和3年度の本プログラムに関する自己点検・評価結果を以下のURLに公開を予定している（以下のURLを参照）。 <a href="https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/distinctive-programs#suuri">https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/distinctive-programs#suuri</a>	自己点検・評価結果について、本学のHPへの公開も予定されているので、点検項目を満たしている。	A

※1…各評価は、左記の区分にて判定 【S:『優れた点』があり、十分に行われている。 A:概ね行われており、相応である。 B:改善の必要がある。】